

私を動かすのは、モロッコの王様も認める 元気エネルギー！

2014年11月12日、取材当日。

田中まさえさんは72歳の誕生日を迎えました。

メンテナンスに通い続ける歯科オノザワで先生や歯科衛生士から

お祝いメッセージをもらい、とってもうれしそうな笑顔！

いつまでも若くてキレイですねという声に、こう答えます。

「とんでもございません。ただ元気なだけ」

72年という長い月日は、決して順風満帆ではありませんでした。

必死になった子育て、新しい仕事への挑戦、

そしてモロッコへの移住……。

そのすべてを支えてきたのは、

持ち前の“元気エネルギー”だといいます。

歯科オノザワに通う
田中 まさえさん
(72歳/マッサージ師)



月の半分はお稽古ごと。 家でじっとしているほうが少ないの

もうオーバー70だけど、取材なんて受けちゃってよろしいのかしら。昨日は、娘が私の友人を集めてお誕生日パーティーを開いてくれました。今朝もお祝いのメールを何件かいただいて、70も過ぎて誕生日なんて全然気にしてなかったけど、うれしかったです。

今でも交友関係が広がっているのは、お稽古ごとを続けているおかげ。フライングにウクレレ、エアロビクス……。それと、あとは何でしたっけ。とにかくいろいろやっています。ヨガみたいにしてとポーズをとるものよりは、音楽に合わせて体を動かすのが性に合っているみたいね。

30代から続けているエアロビクスは、星5つの一番ハードなコースを受けています。これがけっこう難しく、先生が毎回振付をどんどん変えていくから、それについてかなくちゃならないんで

す。若い頃はいつも一番に覚えていたんだけど、最近は2回くらいやらないとわからないことも出てきました。でも若い子の足元を見てマネしながら、負けないように頑張っています。

そんな感じで、月の半分くらいはお稽古ごと。家でじっとしていることのほうが少ないの。うちにいるときは料理や掃除をしたり、孫の面倒を見たり。忙しいけれど、毎日が充実していますよ。



ピンチなときほど、 体の底からぐんぐんチカラが湧くのよ

「前向きに生きなきゃ！」 そう思ってから、とにかくがむしやら

自分で言うのもなんですが、若い頃はなかなか波瀾万丈でした。30代で離婚を経験してからいろいろあつてね。あのときは本当に人生のどん底。これから先どうなるんだろうって、不安でしゅうがなかったです。でもそんな中、たくさんの方から励ましを受けて思いました。「二人娘をしっかりと育てるため、前向きにならなきゃ！」って。体の底からぐんぐんエネルギーが湧くのを感じたの。それからマッサージュ師の資格を取って、とにかくがむしやらに働きました。

大きな仕事を引き受けたのは44歳のとき。あるお客さんから「モロッコの国王の専属マッサージュ師をやらなにか」と声がかかったんです。「つ返事で引き受けましたよ。ハーレムが見てみ

たいはっかりにね(笑)。ひとまず1年だけのつもりで、モロッコ行きを決めました。

実際の宮殿での生活は、想像とは全然違いました。王様はとても人間味あふれる素敵な方。まるで家族のように接してくださったんです。当時中学3年生だった娘の留学まで面倒をみてくれて。もしかしたら、私の元気なところを買ってくれたのかもしれないね。結局王様が亡くなるまでの12年間、宮殿に仕えました。そのとき経験したことは、今でも番大事なもの出です。

Masae's Album

波瀾万丈な人生を送ってきた田中まさえさん。
思い出のアルバムを、タフトくらぶのためにちょっとだけ見せてくれました!!



王様は国にいくつもある宮殿を転々とし、そのたびにお仕えの私たちも一斉に移動しました。1年のうち半分はホテル生活。

宮殿の門にて。歯科医師や美容師など、各国から一流の職人が王様の元を訪れていました。



自慢の一人娘は、モロッコのアメリカンスクールを卒業した初の日本人! 現在は、2人の子を持つ母親です。



12年間仕えたマッサージ担当として、1999年に読売新聞に載せていただきました。この記事を見返すたび、あの頃の思い出がよみがえってきます。



フラダンスの発表会では、白い歯をキラッと光らせて。ウクレレの演奏にまわることもあります。



長年続けてきたエアロビクス。開脚には自信があります! どこへ行くにも自転車を使っているので、体づくりもバッチリ。この写真は、8歳の孫に撮ってもらいました。

モロッコで仕立てた衣装は、特別な日に着ていました。



歯医者さんはたくさんあるけど、生涯このこと決めていきます

振り返ると、ここまで頑張ってきたのは健康だったおかげね。でなきゃ、どん底から這い上がる気力なんて湧いてこないじゃない?

特に歯は、何も問題がないのが一番。そのことを実感したのが、モロッコに行ったときです。痛くなつて歯医者さんに行つたとき、アラビア語が難しいからうまく伝わらなくて、何をされるのかわからず、気づいたら1本抜かれていたの!「すごくショックでしたよ。」「こんな替えがきかない大事なものを、何で抜いちやうの!」って。結局、信頼できる歯医者さんは見つからなくてね。12年間、歯のことはずっと気がかりでした。だから、日本に帰つたら絶対ちゃんと診てもらおうって決めていたの。

さしくて、技術も素晴らしい。ちゃんとしたプロに診てもらうのはこんなに安心できるんだって思いましたね。しかも、歯科衛生士の中尾さんは口の中を見ただけで「最近お疲れじゃないですか」って気づくんです。私はこんな忙しい毎日だから、そうやって声をかけていただけるとうれしいです。

通い始めてかれこれ14年。今もこうして元気でいられるのは、ここに続けた成果ですね。私のことを本当によくわかってくれるので、たくさん歯医者さんがある中で生涯このこと決めてるの。

もう先は長くないけど、これからもお口も体も元気でいようと思います。エアロビクスは星5つのコースをずっと維持したいし、フラダンスとウクレレの発表会も控えていますからね。王様も認めてくださったこの元氣エネルギーで、好きなことを楽しんでいくつもり!

「モロッコですか? 実はあれから一度も行っていないの。王様と過ごした夢のような時間を、さらびやかなまま残しておきたいから。」



歯科オノザワの小野澤院長、歯科衛生士の中尾さんと。田中さんの紹介で通い始めた友人も多いのだとか。